

## 公開フォーラム

# 医薬品のリスクコミュニケーション の現状とこれから

～患者さんへの医薬品の安全性情報提供のあり方を考える～

日時: 2017年11月23日(祝) 13:30～16:00

会場: 東京理科大学(神楽坂キャンパス) 森戸記念館

第1フォーラム(地下1階)

東京都新宿区神楽坂4-2-2(「飯田橋」下車 徒歩7分)

専門家から市民・患者まで、どなたでもご参加ください(入場無料)



### プログラム

「医薬品のリスク・ベネフィットコミュニケーションの取り組みとその動向」

山本 美智子 昭和薬科大学医薬品情報部門 教授

「薬物療法におけるコミュニケーション: インフォームド・コンセントと  
シェアード・デシジョンメイキング」

中山 健夫 京都大学大学院医学研究科 教授

「提供した情報は適切な行動に結びつくか？」

中村 敏明 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授

「行政からの患者さんへの安全性情報提供について」

上野 清美 (独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 安全第一部長

「患者さんの立場から」

坂田 和江 元薬害肝炎九州訴訟原告

増山 ゆかり (公財) いしずえ(サリドマイド福祉センター) 理事

山口 育子 (認定NPO法人) ささえあい医療人権センター COML 理事長

「パネルディスカッション」

「クロージング」

大井 恒宏 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課 課長補佐